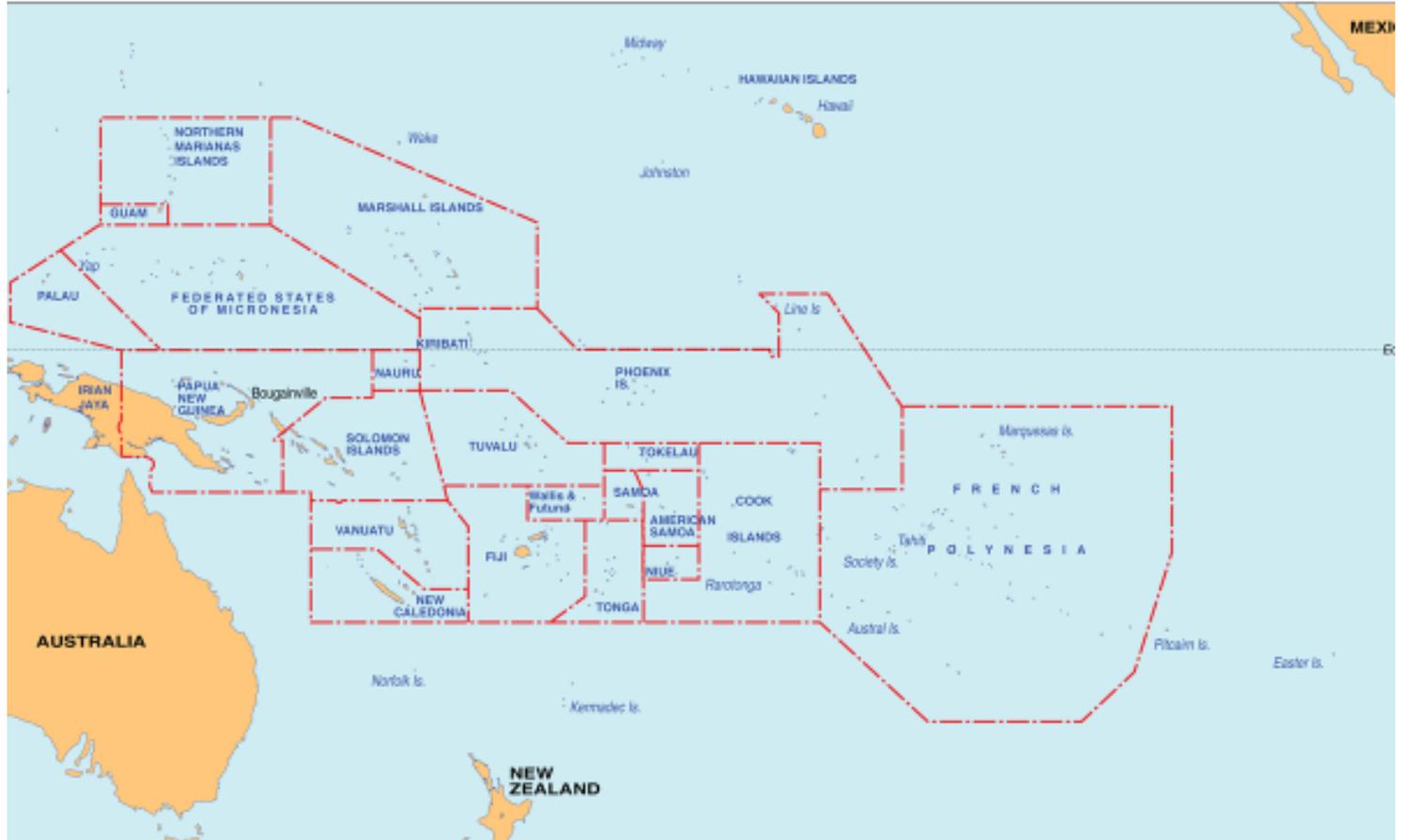


# オセアニアにおける気候と移民



ジョン・キャンベル

# 気候変動と移住

気候変動により余儀なくされる移住  
(Induced migration)

- ★ 一部の住民は、資源減少、生計手段の減少と相殺させるために雇用機会を求めて、移住するとみられる

強制的な移転 (forced relocation)

- ★ 生命・生活維持のシステムが失われたために、故郷での生活が困難となり、コミュニティごと移転する



# 太平洋諸国が環境的移住を強いられる理由



## ✳ 居住可能性(habitability)の喪失

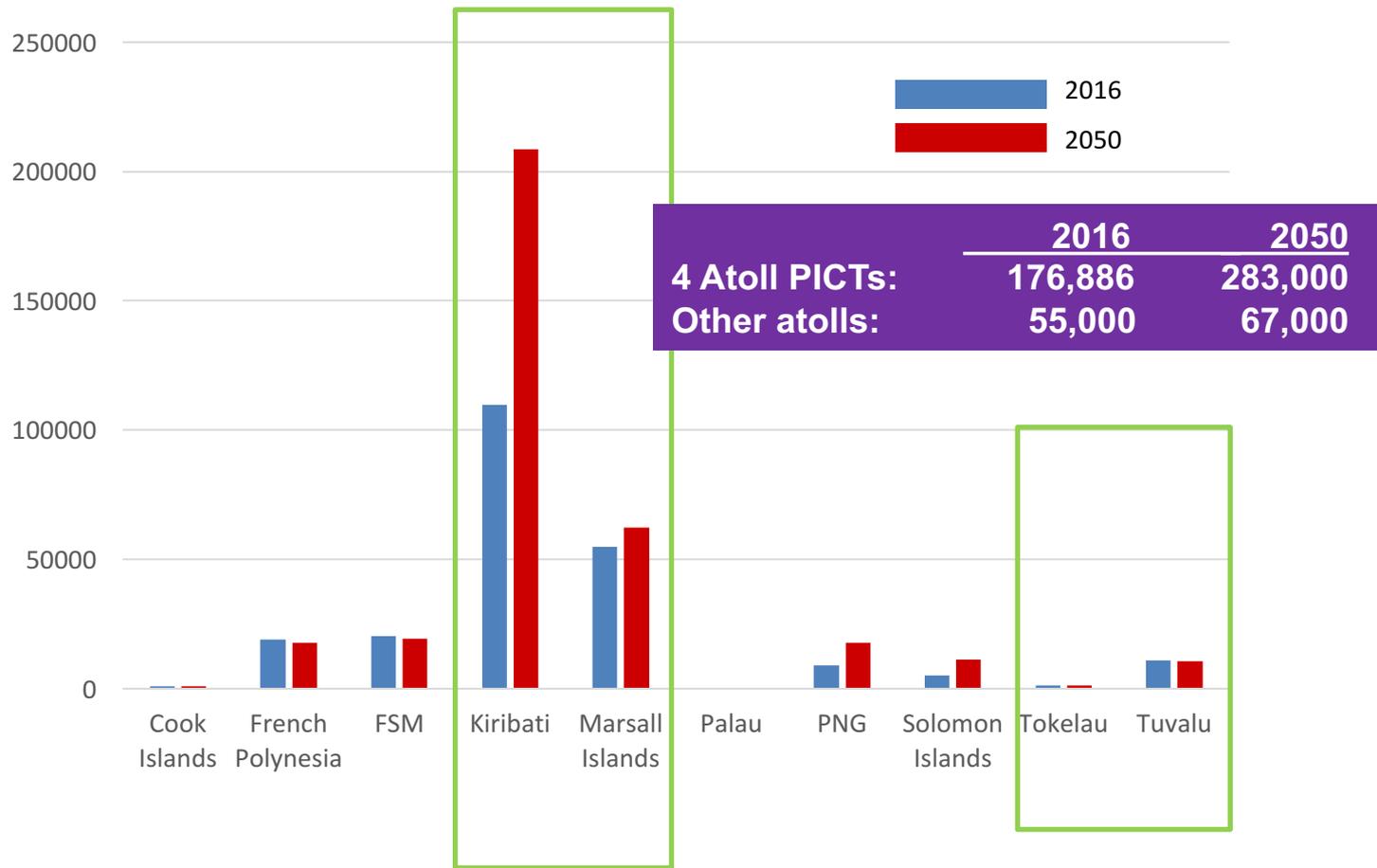
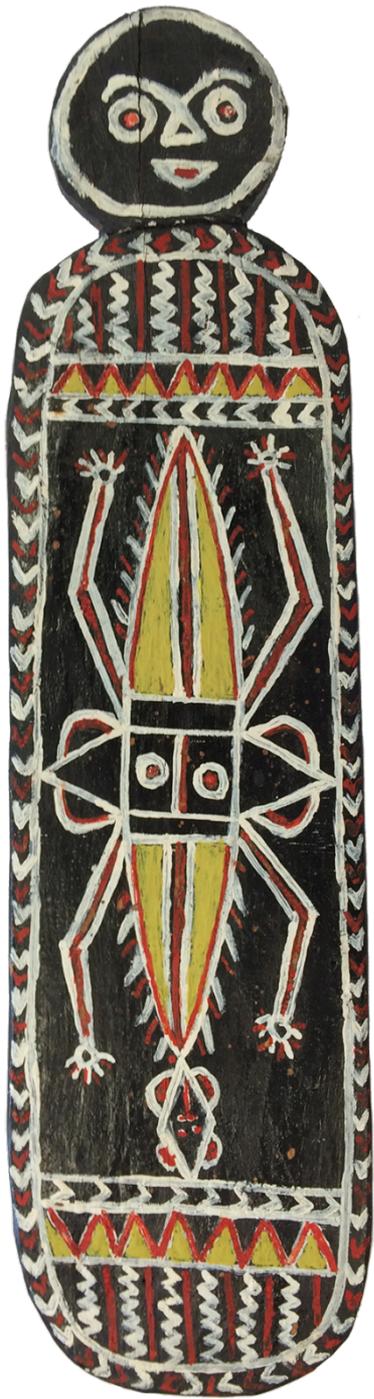
- ✳ 土地喪失
- ✳ 生計手段喪失
- ✳ 住居喪失

} もしくはこれらの組み合わせ

## ✳ 可能性のあるシナリオ

- ✳ 環礁が居住不能になる(侵食、水不足、食糧不足)
- ✳ 沿岸地域が居住不能になる(侵食、浸水の頻度と規模の増大)
- ✳ 河川地域(特にデルタや氾濫原)が住居不能になる(洪水の頻度と規模の増大)
- ✳ 規模の大きな干ばつが連続的に起こるエリア

# 太平洋環礁地域の人口(推定)



左から クック諸島 フレンチポリネシア ミクロネシア キリバス マーシャル諸島 パラオ  
 パプアニューギニア ソロモン諸島 トケラウ諸島 ツバル

# 沿岸コミュニティ

シナリオ	移住を迫られうる人口	
	2016	2050
総人口の1パーセント	112,089	194,000
総人口の5% (ただしPNGは1パーセント)	234,391	365,000
総人口の10% (ただしPNGは1パーセント)	387,269	580,000

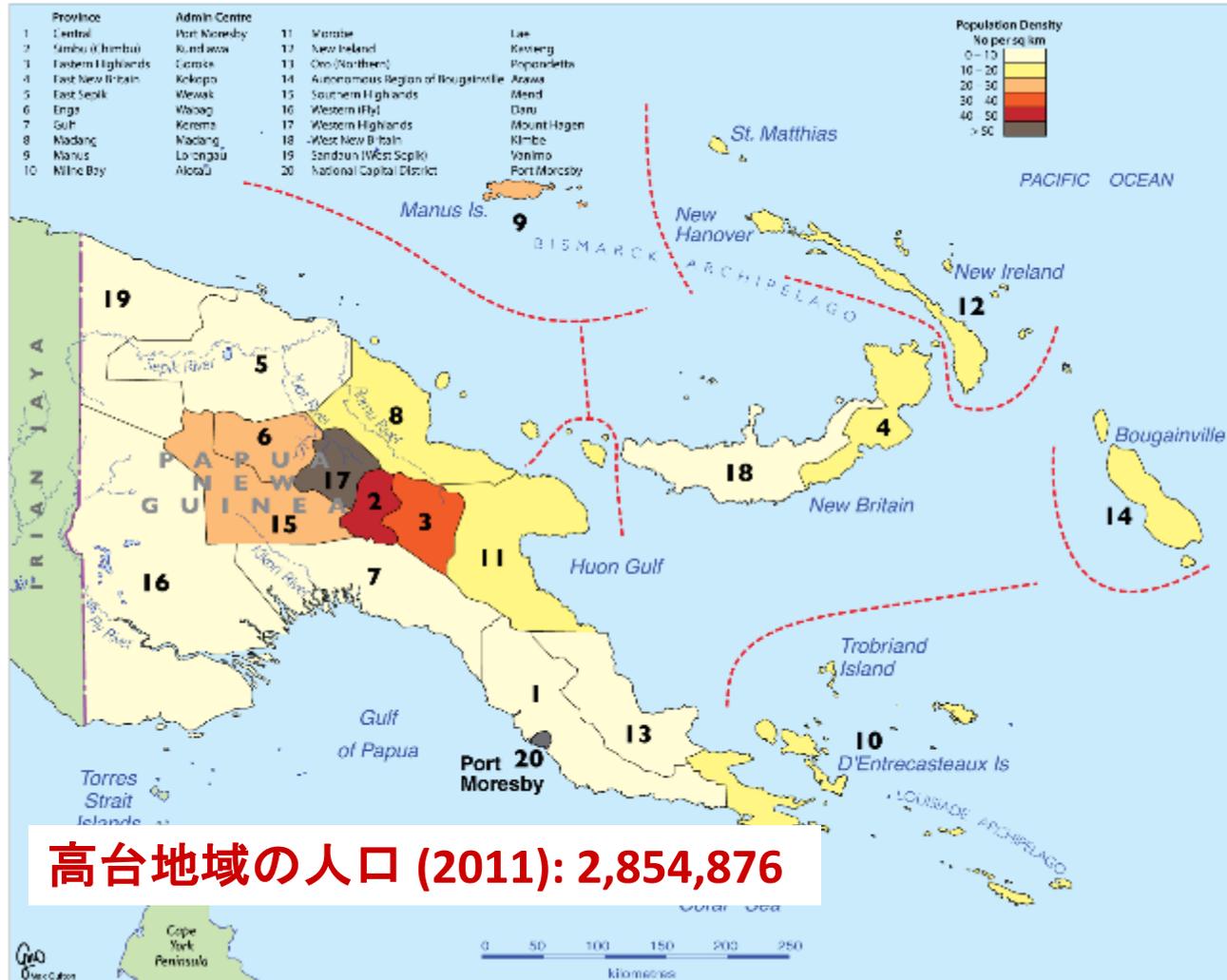
Based on SPC (2016) data



# 河川・氾濫原・デルタ

- ✿ 人口密度が高い地域
  - ✱ 肥沃な土地
  - ✱ 飲み水(真水)の存在
  - ✱ 海洋・水性資源(デルタ)
- ✿ Scenarios:シナリオ
  - ✱ インタープレートアイランドのみ:総人口の1~5%
  - ✱ 2016年の人口: 100,000 ~ 500,000
  - ✱ 2050年の人口: 180,000 ~ 900,000

# 干ばつ



27 October 2017



# 2050年までに影響を受けうる人口が激増?

## ★ シナリオ

	2016年の推計 に基づく		2050年予測に 基づく	
	低	高	低	高
環礁	230,000	240,000	350,000	350,000
海岸	95,000	350,000	195,000	580,000
河川	100,000	500,000	180,000	900,000
総計	425,000	1,090,000	725,000	1,830,000

注:干ばつによる影響人口は除外

# 土地の重要性

❄️ 土地と人々は互いに包摂する存在として認識される

- ❄️ 他者の存在が前提
- ❄️ 土地が親族関係の一部
- ❄️ 土地が文化の中心
- ❄️ 土地は売買の対象ではない
- ❄️ 太平洋諸国の95パーセントの土地が慣習的土地所有



# A Polynesian perspective ポリネシアの視点



- ★ 「...クック諸島のマオリ語では、“enua”は”土地、国、領土、産後”を意味し、フツナ語では“funua”は”国、土地、その場所にいる人々”を意味し、トンガでは“fonua”は”島、領土、私有地、私有地の人々、胎盤”または“fonualoto(その場所の中心)”や”墓”を意味する。ポリネシア言語の中でも、“proto-fanau”は人々と、その人々を養う土地を意味する。胎盤が胎児を養うように。(Pond, 1997,32)



# フィジーのVanua

Ravuvu (1988) – regarding Nakorosule, a village in central Viti Levu:

人々は...個々人やグループの生存がかかっている土地との物理的なつながりなしには生きる事はできない。(土地は)栄養、シェルター、保護、安全保証の源泉をもたらし、アイデンティティや帰属意識の物理的基盤となっている。土地は、そういった意味で個の延長であり、逆をいうと、人々は土地の延長でもある。(p.7)

# どこへ移住するのか

可能性のある帰着点

起点

土地・居住可能性  
が失われる

A. 慣習的土地内

B. 田舎：他人の土地

C. 都市部：他人の土地

同じ国

D. その他のPIC：他人の土地

E. PIC以外、単純不動産？賃貸？

他国

# どこへ移住するか？



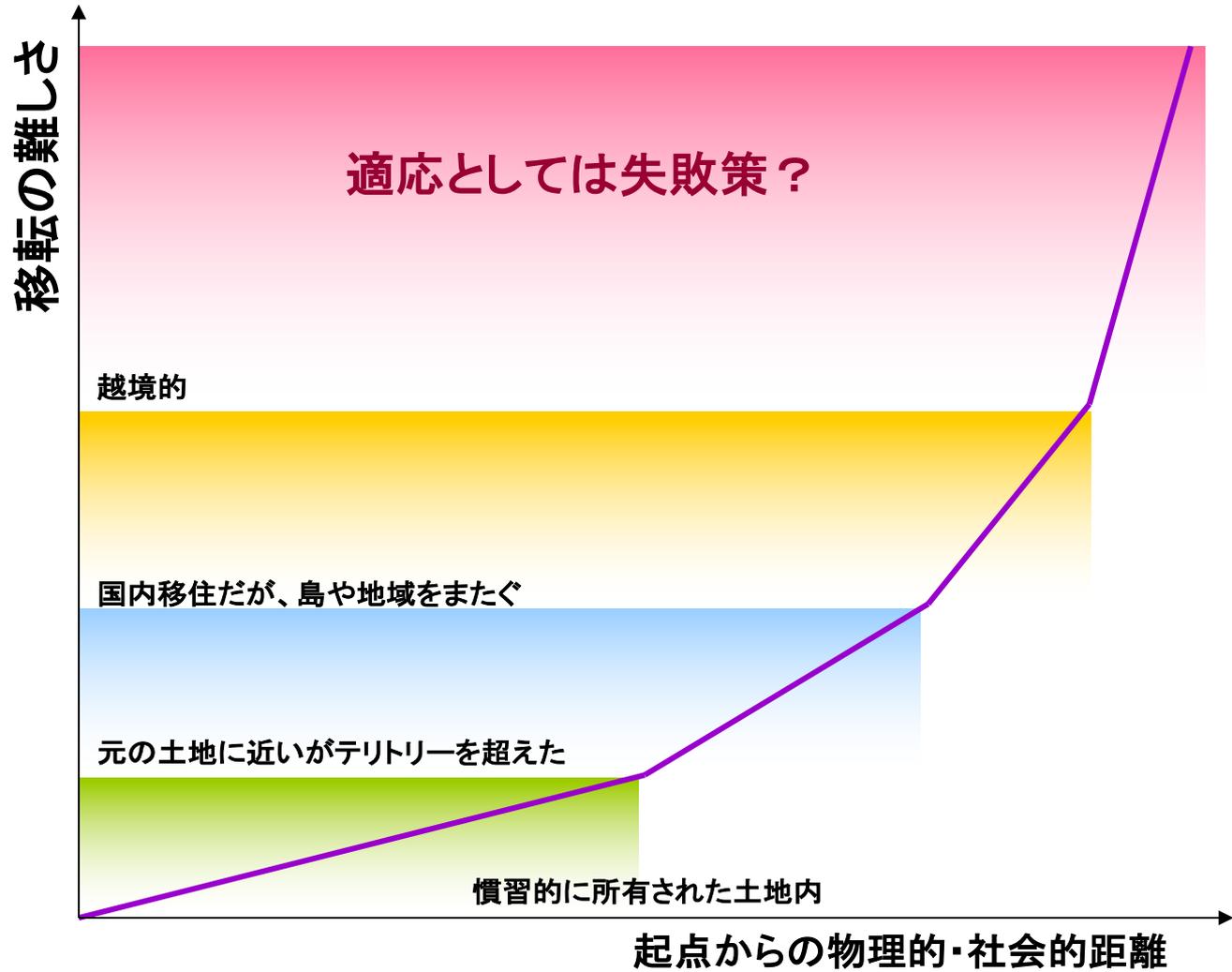
## ★ 国内

- \* 環礁 → 都市部や高台(あれば)
- \* 海岸 → 内陸部や都市部
- \* 氾濫原 → より標高の高い土地や都市部

## ★ 国外 (環礁島諸国のみ)

- \* 環礁諸国 → 太平洋の高地の島国へ(過去に3例)
- \* 環礁諸国と土地 → (旧)宗主国や関係国\*
  - オーストラリア、フランス、ニュージーランド\*、イギリス、アメリカ
- \* 環礁諸国 → 環太平洋岸国家
  - ニュージーランド、オーストラリア、アメリカ、その他？
- \* 環礁諸国 → その他の引き受け先

# コミュニティー移転のコスト





# 結論

- コミュニティー単位の移転は：
  - 非常に困難
  - 莫大なコストがかかる

(移転) 距離に比例して  
増大

- ✳ 長期的コスト
  - ✳ 縮小する土地をめぐる緊張
  - ✳ 半永久的な浸水
  - ✳ 喪失感
- ✳ 国際的な移転は不可能でないとしても非常に難しい
  - ✳ コミュニティーの解体
  - ✳ 文化の喪失

長期的なダイアログが必要

起点と帰着点

- ◆ 国
- ◆ コミュニティ

誰がコストを支払うのか？

- ◆ 適応的移住
- ◆ 制的移転者



ありがとうございます